
顧客事例から学ぶ

脆弱性対策 の転換点

“3つの壁”を超えて、診断内製化を一步前へ

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

事業企画部 ディレクター **阿部 一真** (あべ かずま)

新卒でNTTデータに入社し、Salesforceビジネス推進部門でコンサルティングセールス・カスタマーサクセスを経験。

その後、AIベンチャー企業・SaaSスタートアップ企業にてCS責任者およびプロダクトマネージャー・事業統括責任者を歴任し、エーアイセキュリティラボに入社。

現在はCXチームでの活動に加え、新規プロダクト企画・海外事業展開など全社横断プロジェクトにも携わる。

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

事業企画部 ディレクター **阿部 一真** (あべ かずま)



フォローお願いします！



あらたな答えを、つぎつぎと。

変化の激しいサイバーセキュリティの世界。

私たちは、未知の課題が生まれるたび、培った知見と経験・実績をもとに、「あらたな答え」を世の中に提供し続けていきます。

世界も驚くような、技術の力で。

そして、サイバーセキュリティの進化を通して、人は、人にしかできない、創造性を活かした仕事に注力できる、社会の進化にも貢献していきます。

**「セキュリティ対策」
どうされていますか？**

セキュリティ対策、どうされていますか？

セキュリティ対策が必要な領域

外部に委託する

自分たちで
なんとかする

できていない
やってない

セキュリティ界隈で「よく聞くお悩み」

予算が限られている

人員も限られている

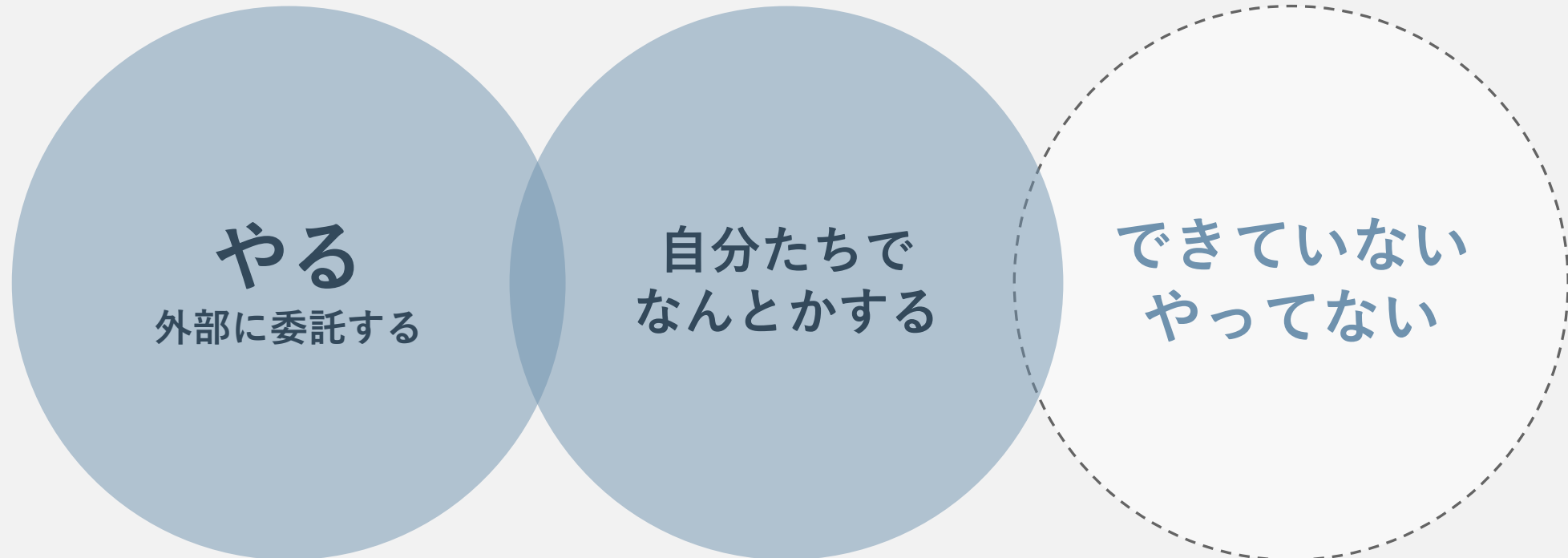


対策すべき範囲 **増**

必要な対策の幅 **増**

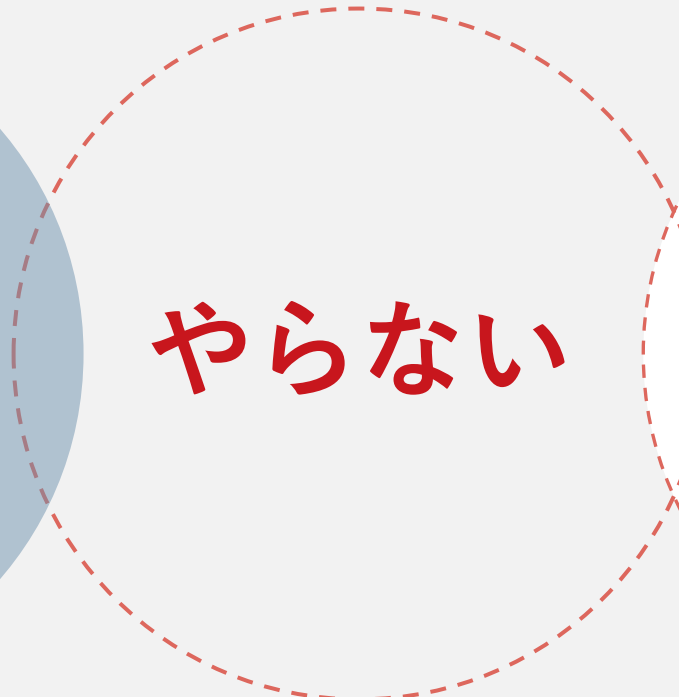
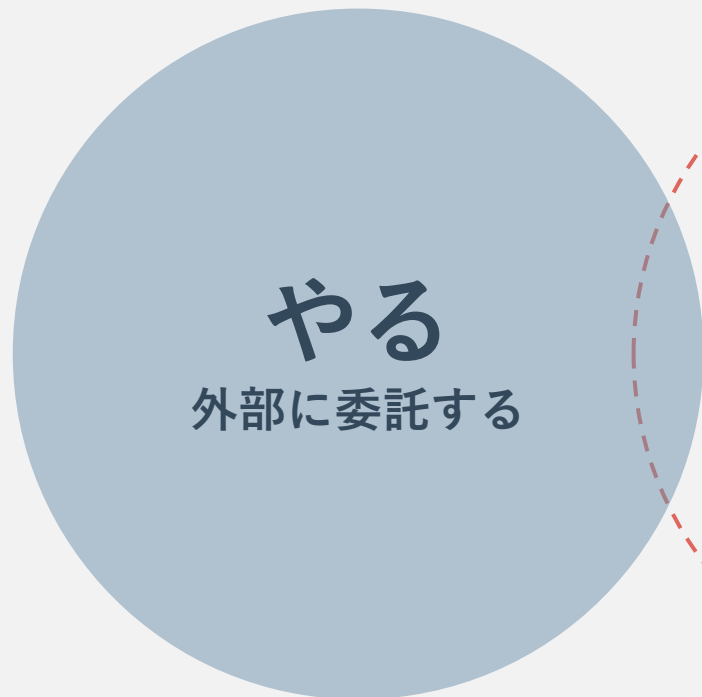
| 実際には、やるか・やらないか、の2択になっているケースも多い

セキュリティ対策が必要な領域



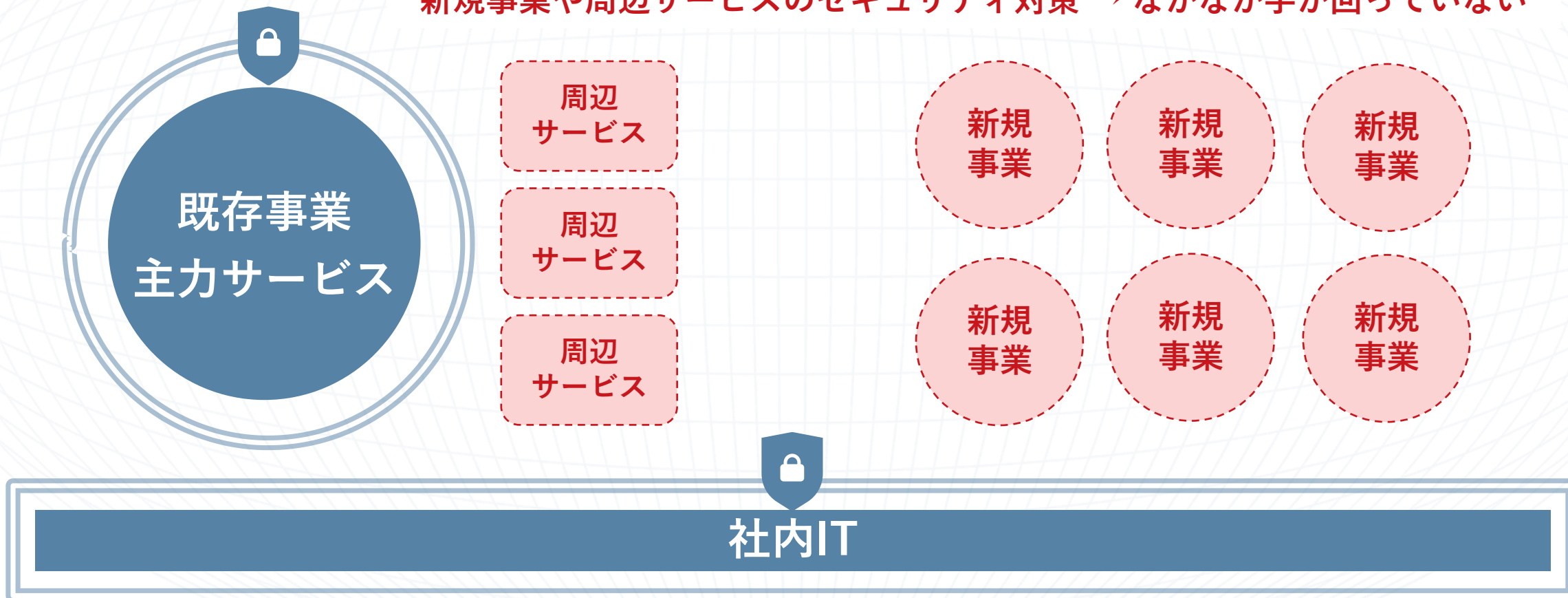
| 実際には、やるか・やらないか、の2択になっているケースも多い

セキュリティ対策が必要な領域



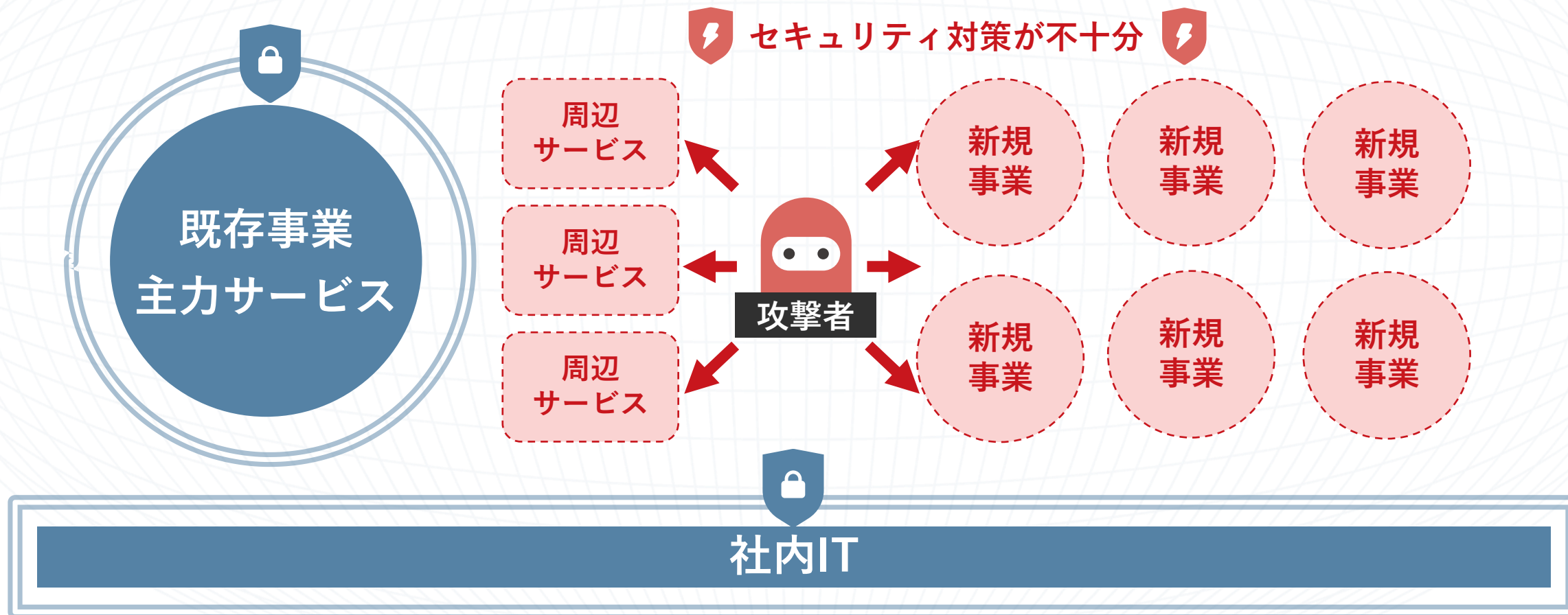
DXが進む中で、セキュリティ対策の予算・人員の配分が難しくなる

新規事業や周辺サービスのセキュリティ対策 → なかなか手が回っていない



既存事業や主力サービス、社内IT資産のセキュリティ対策 → 万全を期すべく予算・人員を割く

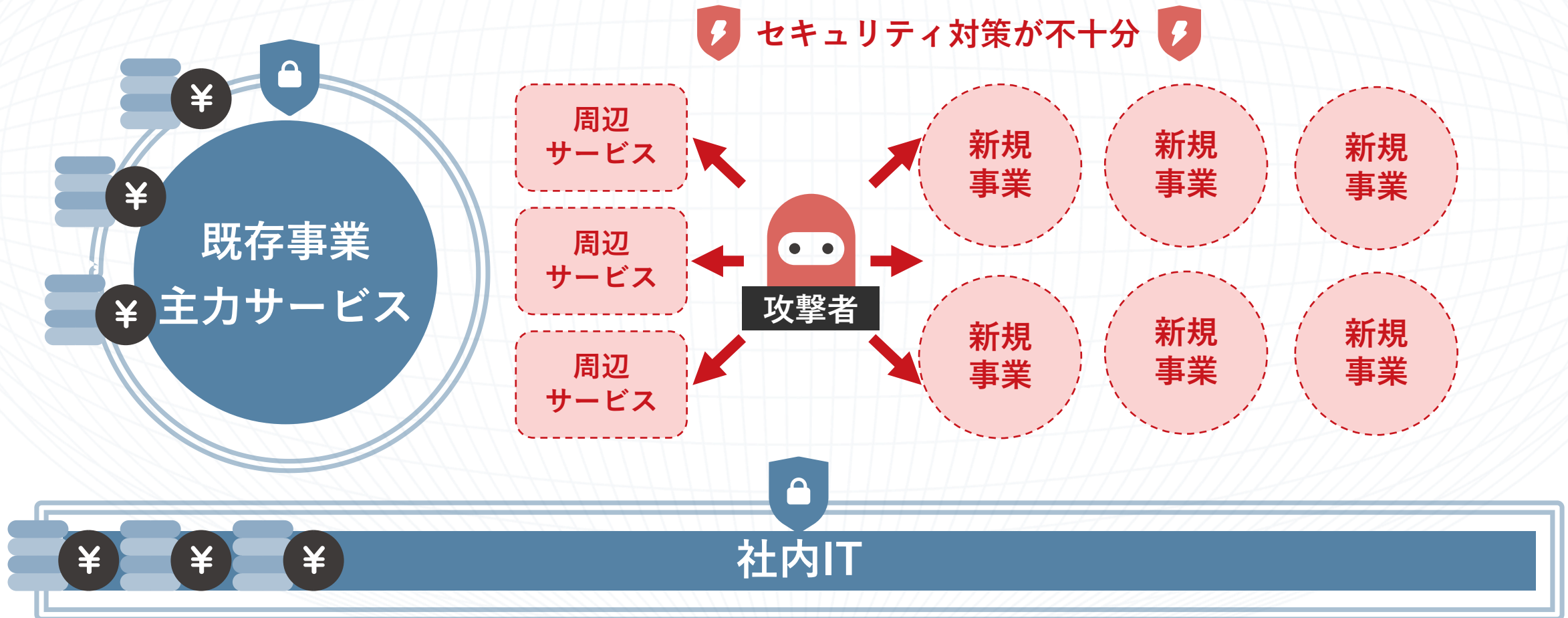
増え続ける「攻撃面」が狙われている・・・！



脆弱性診断について考えてみると…

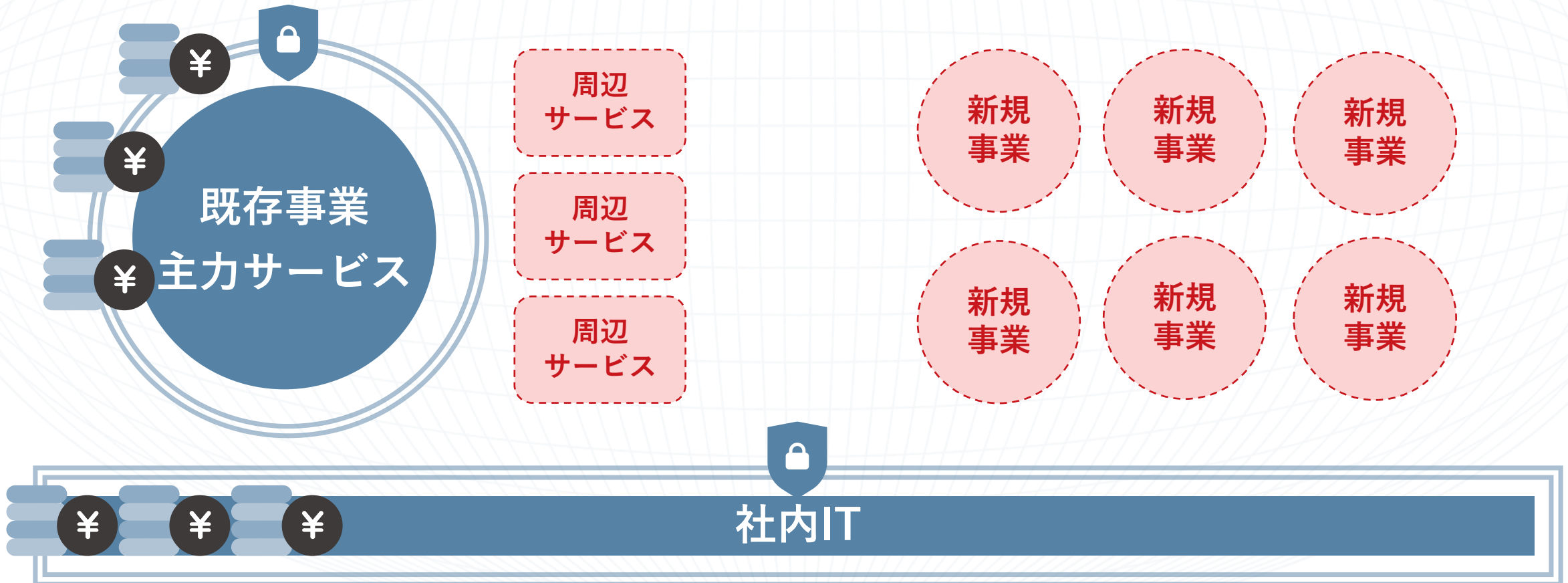
いきなり全てを100点にするのは難しい。かといって0点もマズい…

従来は「やるか、やらないか」で、予算・人員を配分するしかなかったが…



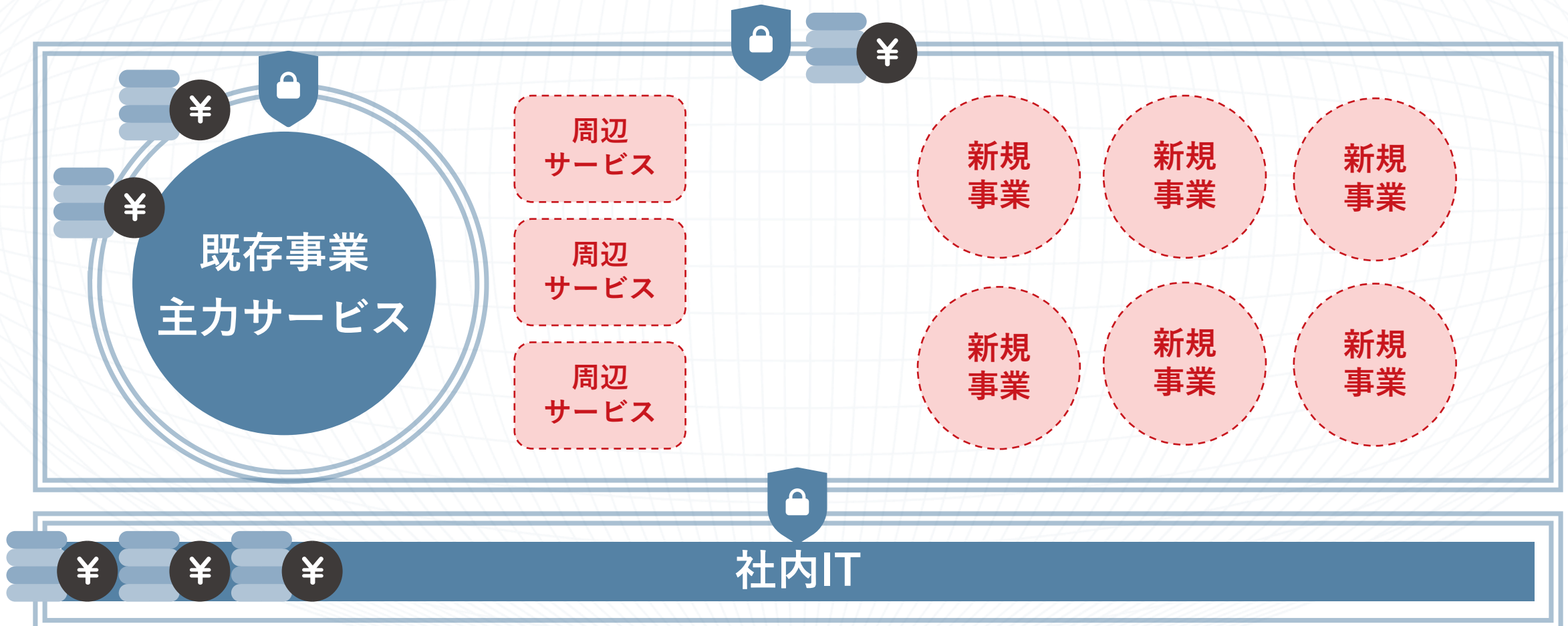
「内製化」で、全体を70-80点まで引き上げる

予算の一部を「内製化」にまわすことで、「全体」のセキュリティ対策レベルを一定水準にUP



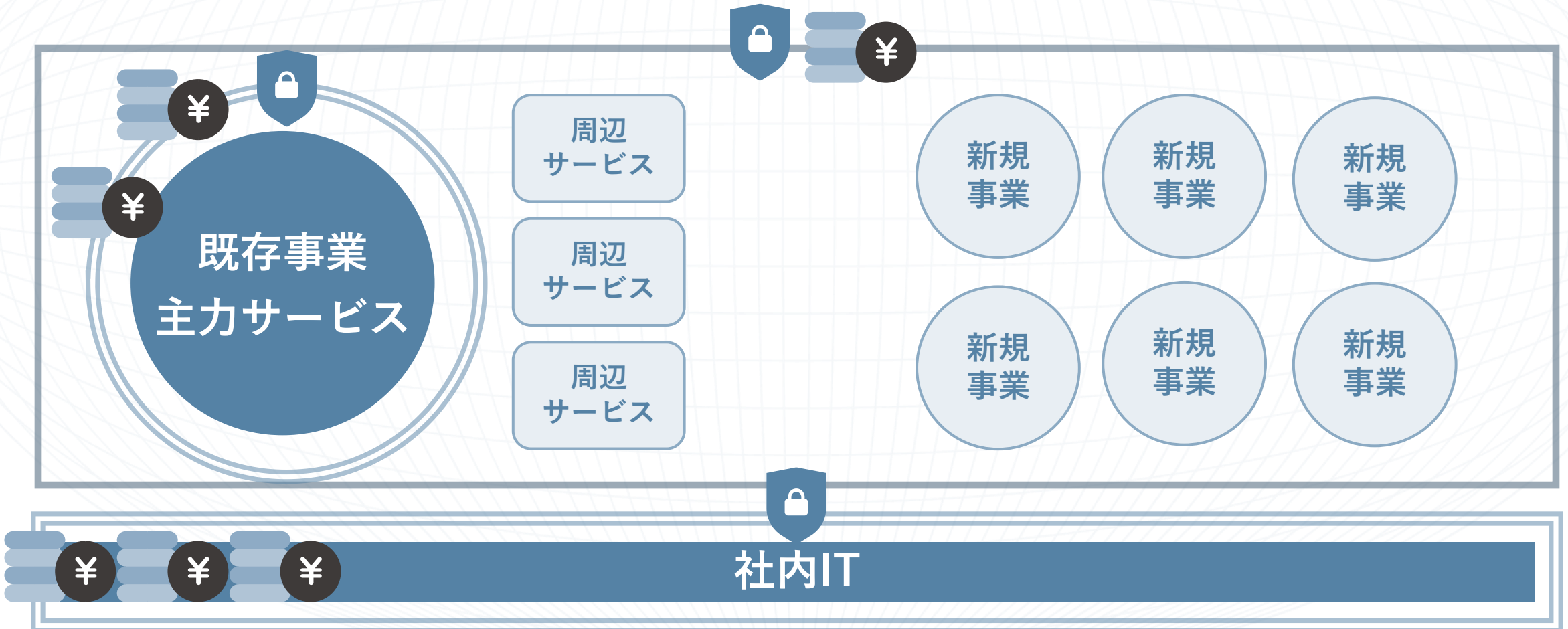
「内製化」で、全体を70-80点まで引き上げる

予算の一部を「内製化」にまわすことで、「全体」のセキュリティ対策レベルを一定水準にUP



「内製化」で、全体を70-80点まで引き上げる

予算の一部を「内製化」にまわすことで、「全体」のセキュリティ対策レベルを一定水準にUP



**“自分たちでなんとか内製化”
に立ち上がる 「3つの壁」**

「内製化できればいいんだけどな…」



診断の品質を維持
できるだろうか？

診断員を育成・確保
できるだろうか？

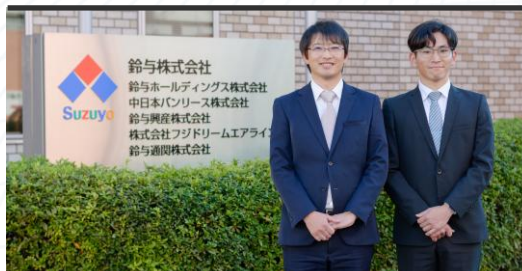
コスト(費用・時間)
を削減できるか？



**脆弱性診断は
内製化できるんです**

導入事例紹介

鈴与様



企業名 鈴与株式会社

事業内容 総合物流事業

従業員数 1,146名 (2024年8月31日時点)

課題

外部ベンダーに診断を依頼していたが、対象となるWebシステムが増えるほどコストと時間がボトルネックに

具体的な課題

- 1 社外向けWebシステムの開発が増え、診断にかかるコストが膨らんでいた
- 2 外部ベンダーに依頼すると、見積もりや契約だけで1か月かかるなど、時間を要してしまう
- 3 コスト・時間の制約から頻度高く診断を行うことができない

これまで社内向け業務システムの開発が中心だったが、物流データを活用した新たな価値提供を推進するため、社外向けWebシステムを積極的に開発する方針へ転換。しかし、診断にかかるコストと時間がボトルネックになっていた。

導入

セキュリティ専門家でなくても扱える上、外部ベンダーの診断と同等の品質も評価

導入の背景

- 1 診断開始までの工数が少なく、UI含めて誰でも使いやすい
- 2 OWASPなど業界標準の脆弱性をカバーしており、外注と同等の診断ができる
- 3 専門家でなくても、レポートを見れば問題点と必要な対策が理解できる

診断の内製化にあたり、複数ツールをトライアル導入して比較検討。セキュリティの専門家でなくても扱えることや診断品質、レポートのわかりやすさや、画面遷移図で巡回が抜け漏れなく行われているか見えることなどが決め手となり導入。

効果

約3割の診断コスト削減を実現。診断頻度も増やすことができ、セキュリティレベルがアップ。

具体的な効果

- 1 シナリオ作成も1日かからず終わられ、1週間以内には診断開始まで実行できる
- 2 コスト・時間が削減できただけでなく、開発サイドのセキュリティ意識も向上
- 3 従量課金ではないので、今後診断対象の増加に伴いコストメリットも増えると実感

以前までは診断開始までに長いと1か月ほど時間を要していたが、コストを削減しながらスピード感のある診断が実現できるようになった。緊急度の高い脆弱性が見つかった際にはすぐ改修を依頼できるなど、セキュリティレベルの向上につながっている。

導入事例紹介

タイガー魔法瓶 様



企業名 タイガー魔法瓶株式会社

事業内容 生活用品総合メーカー

従業員数 769名 (2023年6月時点)

課題

診断を外注していたが、コストとスケジュール調整が負担になり、内製化を検討

具体的な課題

- ① セキュリティ人材の確保が困難
- ② 外注コストの膨張
- ③ 診断調整の負担増

脆弱性診断には専門的なスキルやノウハウが必要となるが、社内での人材確保は難しく、外注せざるを得なかった。1サイトの診断に数百万円単位のコストがかかる上に、診断実施までの調整コストも膨らんでいた。

導入

自動巡回の精度や脆弱性の検知率等で比較。
最も信頼できるAeyeScanに導入決定

導入の背景

- ① 脆弱性診断の「内製化」を目指したい
- ② 過検知・誤検知が少ない製品を探していた
- ③ コストを削減したい

自分たちで使いこなせるかを重視しつつ、自動巡回の精度、検知率等を定量的に比較。AeyeScanで特に評価したのは「自動巡回機能」と「診断精度」だが、大幅にコスト削減できる点も導入の決め手。

効果

年1回の定期診断を実施。
自動巡回機能で大半の作業を自動化。
大幅な負荷軽減に

具体的な効果

- ① 作業の自動化による担当者の負荷軽減
- ② セキュリティレベルの担保に有用
- ③ GUIが使いやすく、教育も容易

「自動巡回機能」により、大半の作業を自動化。直感的に作られたGUIは使いやすく、使い方の共有もしやすい。クラウドサービスならではの、こまめな機能改善も好印象。

| 意外と「内製化」できるかもしれない…！

✓
診断の**品質を維持**しながら
内製化できた！ 

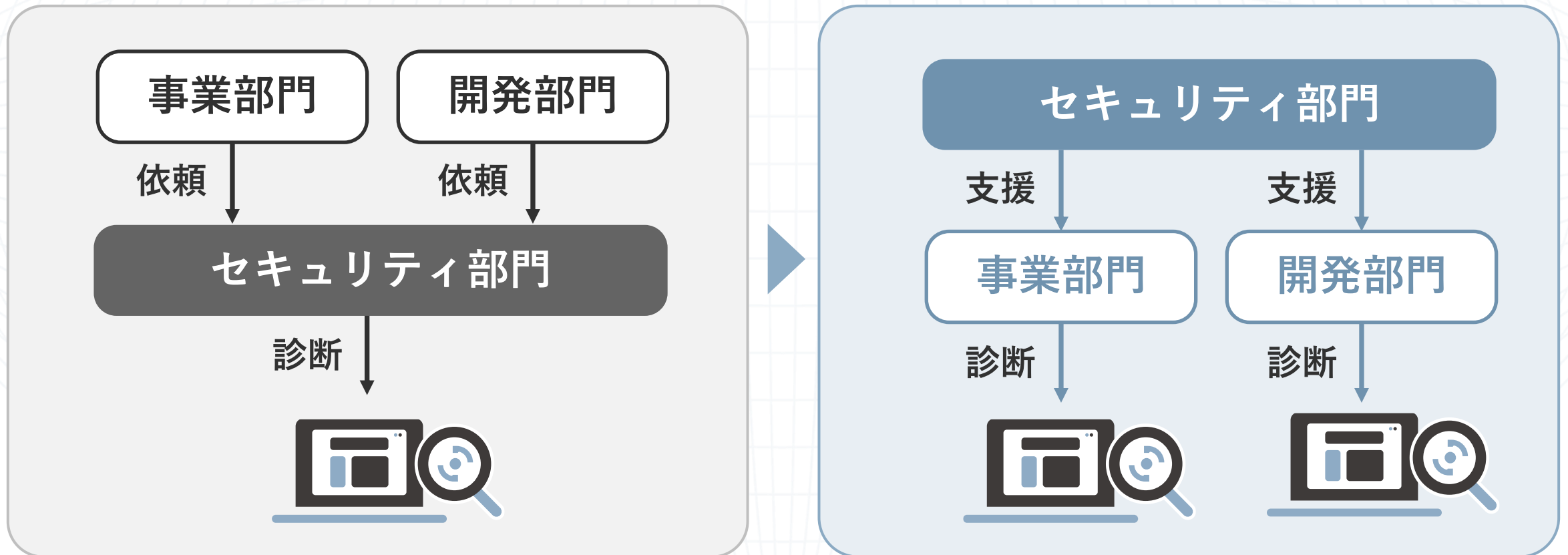
✓
社内メンバーだけで
対応できた！ 

✓
内製化で**コスト(費用・時間)**を
抑えられた！ 

さらに一歩進んで…

セキュリティ部門が一括請負する体制から

開発部門・事業部門で脆弱性診断を実施する体制に進化させた事例も…！



導入事例紹介

SOMPOひまわり 生命保険 様



企業名 SOMPOひまわり生命保険株式会社

事業内容 国内生保事業

従業員数 2,650名 (2023年度末時点)

課題

外注だと手間と時間がかかり、
2週間の開発サイクルに合わせた診断が困難

具体的な課題

- 1 アジャイル開発のため外部委託だと契約や調整の手間、時間がかかる
- 2 開発の早い段階で脆弱性対策をする「シフトレフト」を目指したい
- 3 家族情報や病歴などを含む個人情報を扱うため、セキュリティ意識の底上げが必要

「健康応援企業」を目指し、アジャイル開発によりアプリ・サービスをスピーディーに提供中、脆弱性対策が課題になっていた。外部診断ではコストや時間がかかる一方、人材育成も非現実的なため、診断ツール導入を検討することになった。

導入

他社ツールと比較検証した上で、
検知能力、操作性などを評価し選定

導入の背景

- 1 他ツールと比較し、高い検知能力があると判断
- 2 操作性がよく、開発チーム自ら診断できる
- 3 レポート内容がわかりやすい

最初にピックアップした11製品の中から、まずはDAST製品である3製品に絞ってPoCを実施。脆弱性のあるサイトを留意して検証した検知能力、操作性、機能・運用性、パフォーマンスの点でAeyeScanが優れていると判断し、導入を決定。

効果

開発者が自分たちで手軽に診断できるようになり、ガイドや勉強会と組み合わせることでシフトレフトの考え方も浸透

具体的な効果

- 1 改修などのタイミングに合わせた、月に1本程度の診断が実現
- 2 ボタンを押すだけで手軽に診断できると、開発者側から感謝の声が上がっている
- 3 シフトレフトの考え方が理解され、開発者のセキュリティ意識が向上

AeyeScanの導入とともに開発者向けのガイドを作成し、開発プロセスに無理なく取り入れていった。コストや工数・時間といった課題が解決されたことに加え、開発者のセキュリティ意識も向上。グループ会社からも導入に興味を示されている。

「自分たちでなんとか内製化」の「3つの壁」を乗り越えるには

?

診断の品質を維持
できるか不安



?

コスト(費用・時間)
を抑えられるか不安



?

社内メンバーで対応
できるか不安



1. まず、一步を踏み出す (何かしらのツールを試してみる)
2. 自社の課題=壁を乗り越えられるか、試してみる



なんやかんやありましたが…

脆弱性診断を内製化するなら！



生成AI時代の脆弱性診断なら

AeyeScan

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1※

※富士ケメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア（2024年度実績）

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2024年度実績）

有償契約
300社以上



01

高精度なAI活用

巡回精度が高く
画面遷移図で見てわかりやすい

02

学習コストゼロ

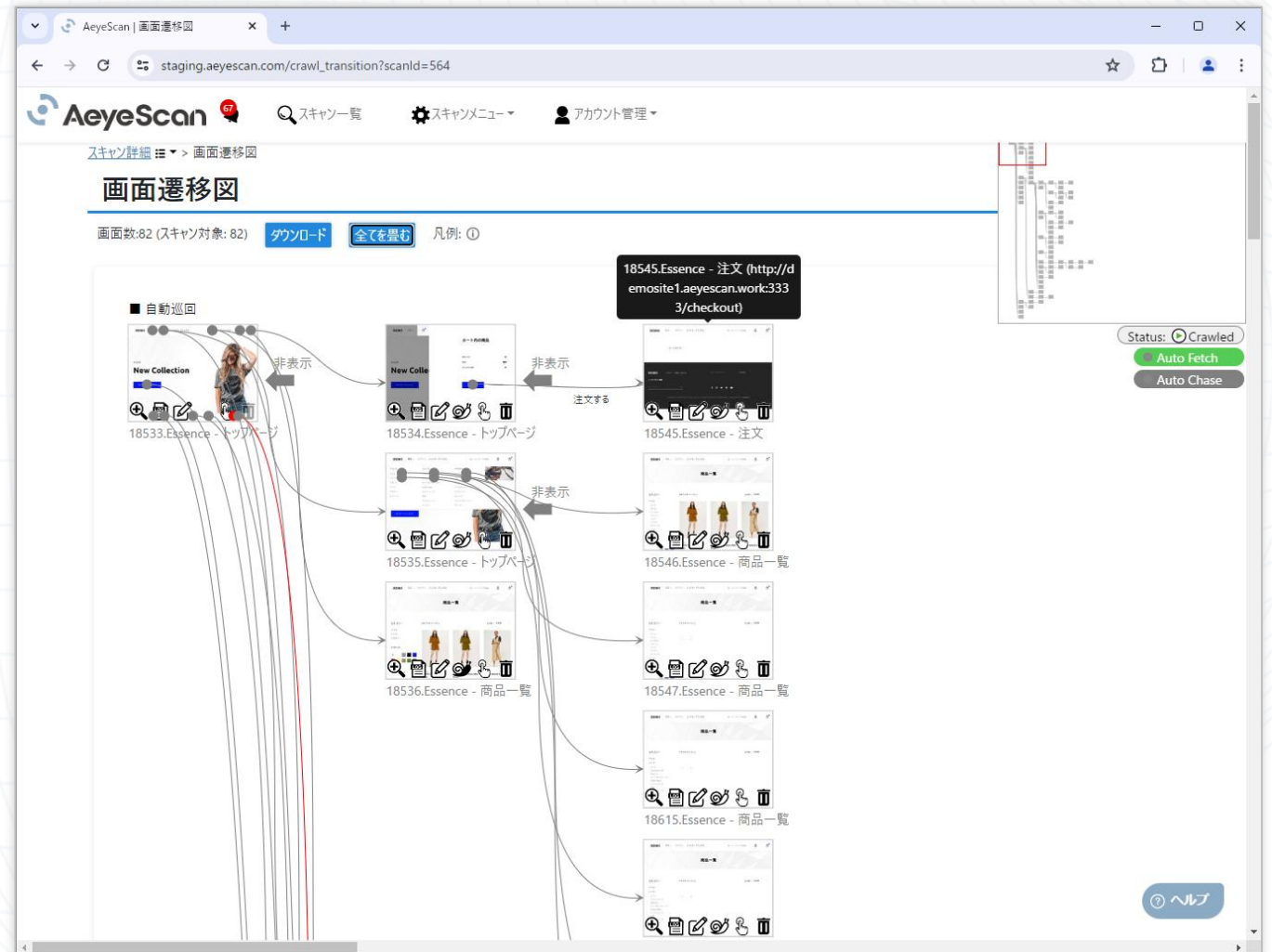
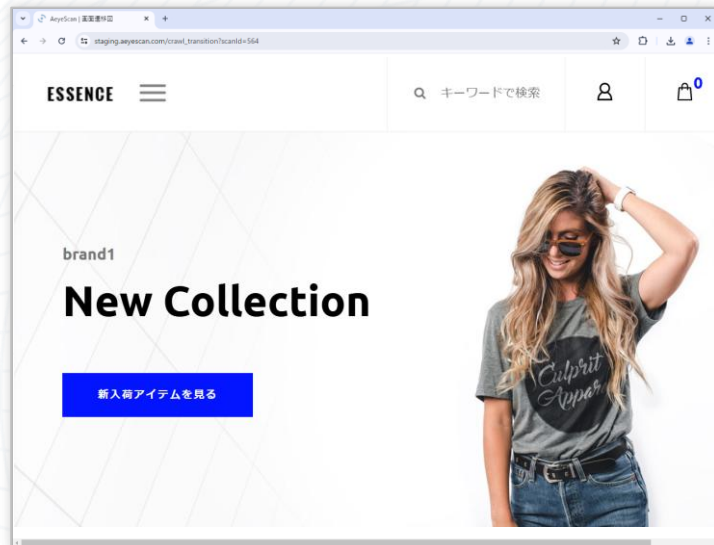
開発やセキュリティの
知識がなくてもすぐに使える

03

業界標準対応

外部委託と遜色なく
内製化が可能

巡回時に、自動で画面遷移図を生成



結果がわかりやすく、すぐさま修正作業に取り組めるレポート

AeyeScan

Web-ASM | スキャン一覧 | スキャンメニュー | 組織設定

スキャン一覧 > スキャン詳細 > スキャン結果(カテゴリ)

スキャン結果(カテゴリ)

● 会社概要アップデート (http://demosite1.aeyescan.work:3333/)

レポートダウンロード

Severity	Count
Critical	11
High	0
Medium	23
Low	1
Info	17

● OWASP TOP 10の結果

- > A1:2017-インジェクション: 11件 ⓘ
- > A2:2017-認証の不備: 1件 ⓘ
- > A3:2017-機微な情報の露出: 1件 ⓘ
- > A4:2017-XML 外部エンティティ参照(XXE): 1件 ⓘ
- > A5:2017-アクセス制御の不備: 0件 ⓘ
- > A6:2017-不適切なセキュリティ設定: 17件 ⓘ
- > A7:2017-クロスサイトスクリプティング(XSS): 18件 ⓘ
- > A8:2017-安全でないデシリアライゼーション: 1件 ⓘ
- > A9:2017-既知の脆弱性のあるコンポーネントの使用: 1件 ⓘ

ヘルプ

概要 | 脆弱性情報 | 詳細ログ | 再スキャン実行

クロスサイトスクリプティング

スキャン情報

81. 会社概要アップデート (http://demosite1.aeyescan.work:3333/)

対象ページ

1777.Essence - 新規登録 (確認) (http://demosite1.aeyescan.work:3333/register) 📄

[画面遷移図で表示](#)

深刻度

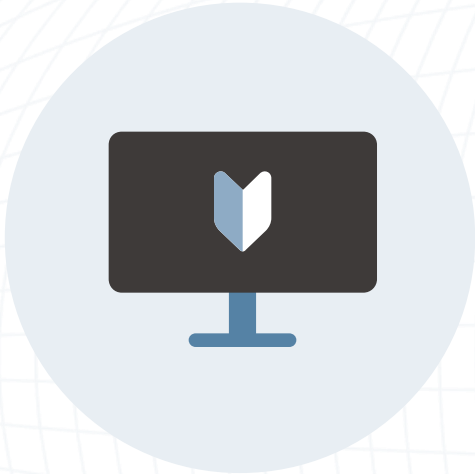
Medium 📄

CVSS: 5.1 (CVSS:4.0/AV:N/AC:L/AT:N/PR:N/UI:A/VC:L/VI:L/VA:N/SC:N/SI:N/SA:N) 📄

スクリーンショット

The left screenshot shows a login page with fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password). The right screenshot shows a registration form with fields for '氏名' (Name), '性別' (Gender), '年齢' (Age), 'パスワード' (Password), '確認パスワード' (Confirm Password), 'メールアドレス' (Email Address), '会社名' (Company Name), '所属部署' (Department), and '役職' (Position).

AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作



開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。



AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。



わかりやすいレポート



各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

| カスタマーサクセスチームによる“成果最大化”に向けた伴走支援

ベストプラクティスをもとに、貴社に合わせたメニューを柔軟にご提案いたします。

脆弱性診断に特化した 業務フロー作成支援



提供内容の一例

- 診断～修正までの貴社体制図
- 体制図に則した実業務フロー図
- 脆弱性診断関連の必要タスク

成功事例

- 持続可能なリスク低減体制を構築
- コミュニケーションコストの削減

脆弱性診断の ルール作成支援



提供内容の一例

- 診断範囲の選定基準
- 診断タイミング / 頻度の目安
- 検出された脆弱性の対応指標

成功事例

- ガバナンスの強化
- Webセキュリティレベルの向上
- 情報安全意識の底上げ

脆弱性診断の スケジュール作成支援



提供内容の一例

- ツール診断計画の妥当性評価
- 全ドメイン毎の優先順位付け

成功事例

- 年次定期診断の実現
- 診断範囲、頻度の拡充
- 脆弱性診断マネジメントの実現

| AeyeScanが選ばれている理由

誰でも使える操作性

×

プロが認める機能・性能

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

人材・教育



メディア



インフラ



製造



SaaS



金融



エンタメ



SI・IT企業



セキュリティ企業



本日の内容を“実践”に落とし込むウェビナーを開催

脆弱性診断 内製化 の始めかた

差がつく運用設計の

“5ステップ”とは？

2026

4.21

LIVE リアルタイム配信
火 16:00-16:30

アーカイブ配信
4.30 木 8:00
- 5.1 金 22:00

AeyeSecurityLab

株式会社エーアイセキュリティラボ
事業企画部ディレクター | 阿部 一真

お気軽に
ご参加ください

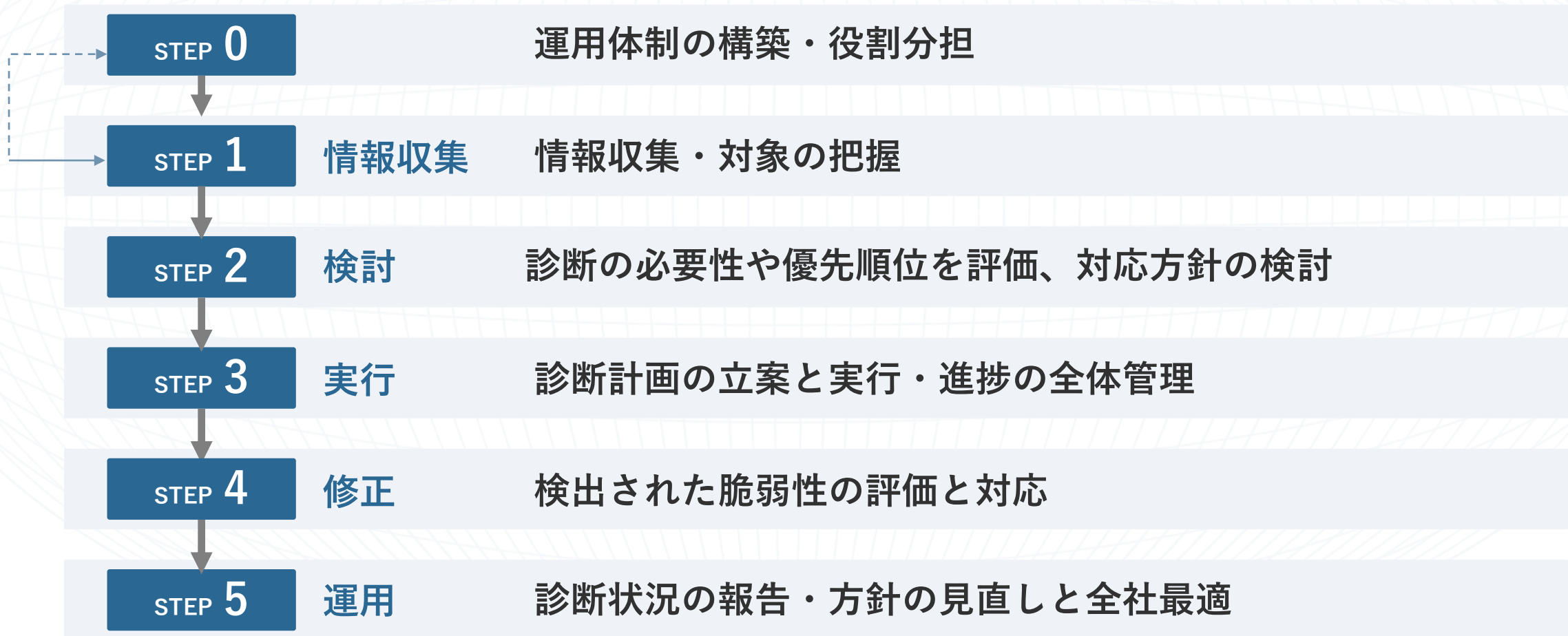
ウェビナーの詳細を確認



脆弱性診断内製化のポイント

4/21開催の当社無料ウェビナーで詳しく解説！

脆弱性診断の内製化は、STEP 0～5の段階に分けて考えることができます。



AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



定期開催中！

AeyeScanがよく分かるデモ動画・セミナー

AeyeScanを
検討してみたい方へ

AeyeScanがどんなものか知りたい方向けに、
デモを交えてわかりやすくご紹介。
まずは気軽に使い勝手をチェック！

AeyeScanデモ動画を視聴

AeyeScanの操作を
体験してみたい方へ

実際の操作を通して、一連の機能を体感。
導入前の不安や疑問をまるごと解消。
“わからないまま”をなくすセミナーです。

ハンズオンセミナーの日程を確認

セキュリティ対策に
お悩みの方へ

最新の事例や対策ノウハウをテーマ別に紹介。
月替わりで学べる無料ウェビナーを開催中。
お気軽にご視聴いただけます！

ウェビナーの日程を確認





AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。